

※本リリースは日本ユニシス、新潟交通、エヌシーイー、長岡技術科学大学の共同プレスリリースです。重複して配信される場合がありますことをご了承ください。

報道関係各位

2021年12月13日

日本ユニシス株式会社  
新潟交通株式会社  
エヌシーイー株式会社  
長岡技術科学大学

新潟市において、新潟市住民向けにまちなか消費・公共交通利用の行動変容を促す地域アプリ「りゅーとなび」の提供とデータ利活用の実証実験を開始します。

日本ユニシス株式会社、新潟交通株式会社、エヌシーイー株式会社、長岡技術科学大学が共同し、新潟市において MaaS (Mobility as a Service) および移動データ利活用の実証実験を本日から開始します。

本実験では、新潟市住民向けに地域アプリ「りゅーとなび」を提供します。アプリ上で新潟市内店舗施設のイベント情報、スポット情報、クーポン、デジタルチケットサービス<sup>(※)</sup>を提供して新潟市住民のまちなかへの移動・消費を促すとともに、利用者のデータ提供受容性検証や移動データの利活用の検証を進めていきます。なお本実験は、経済産業省 令和3年度「地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用推進事業」に選定されています。

※デジタルチケットサービスは近日サービス提供開始。



新潟市住民向け地域アプリ「りゅーとなび」



App Store



Google Play

- |            |  |
|------------|--|
| 1. 実験期間    | 2021年12月13日(月)～2022年3月31日(木)   |
| 2. 事業者と役割  | 日本ユニシス株式会社(全体統括、「りゅーとなび」の開発・運用)<br>新潟交通株式会社(市内協力事業者との折衝およびプロモーション)<br>エヌシーイー株式会社(データ分析)<br>長岡技術科学大学(データ分析) |
| 3. 実験の目的   | ○移動目的と移動手段の統合による、まちなか消費・公共交通利用の行動変容を検証<br>○利用者のデータ提供受容性を検証<br>○移動データの利活用機会を広げて MaaS およびデータ利活用の社会実装を進める     |
| 4. 実験/検証内容 | 別紙に記載  |

以上

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<問い合わせ先>エヌシーイー株式会社 新事業戦略室 高橋・高倉 Tel: 025-385-6190

(別紙) 実験／検証内容

**地域アプリ検証  
(りゅーとなび)**



イベント情報やお店のクーポン等で  
利用者のおでかけ意欲を刺激。  
交通チケットや経路検索と組み合わせ  
情報提供することで公共交通利用を促進。

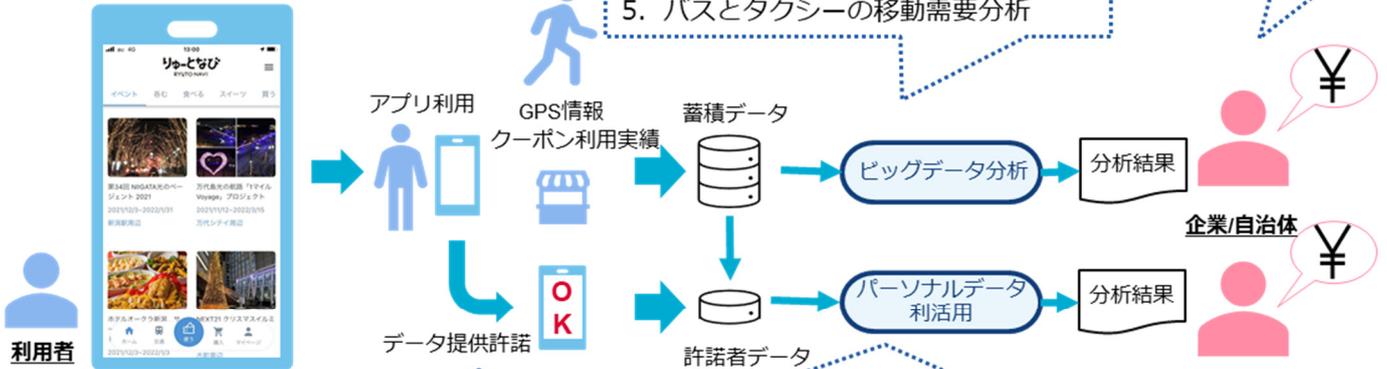
**ビッグデータ利活用検証**

アプリ取得データに加え、バスのOD、  
ETC2.0、タクシープローブなどのデータ  
を用いて、5つのユースケースを検証。

1. まちづくりの効果計測
2. まちなか周遊行動分析
3. 駐車場混雑予測
4. 自家用車で来街者の経路分析
5. バスとタクシーの移動需要分析

**データ利活用の  
ビジネスモデル  
検証**

企業/自治体等へ  
のヒアリングを  
実施。



**モビリティデータ提供に対する社会受容性評価**

利用者に対して、データ提供に関する必要情報  
(データ提供先・範囲・目的等)を開示。ユース  
ケースの内容やインセンティブ(商品券等)  
の有無による受容性の違いを分析。

**パーソナルデータ利活用検証**

許諾者データを用いて、第三者(民間/公共)と連携した  
3つのユースケースを検証。

1. 商業エリアの行動分析によるサービス向上
2. 特定エリアへの近接をもとに適時プロモーション実施
3. まちづくりなど公共性の高い施策への活用